

2016年9月  
No.16-110a(山)※5

## 新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えするため、検査の新規拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内いたしますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

### 記

#### ■新規受託項目

- [-] HTLV-1 核酸検出

※検査要領の詳細は裏面をご参照下さい。

#### ■受託開始日

- 2016年10月1日(土)

以上

## HTLV-1 核酸検出

日本には約108万人のHTLV-1(ヒトT細胞白血病ウイルス1型)キャリアが存在し、約5%にATL(成人T細胞白血病)等が発症するといわれています。HTLV-1の主な感染経路は、母乳を介した垂直感染であり、その他にも、日本赤十字社での献血検体陽転化例についての疫学調査により年間3000～4000人の水平感染の発生が示唆されています。ATLやHAM(HTLV-1関連脊髄症)は難治疾患であり、HTLV-1キャリアの同定と感染予防が重要な課題となっています。

HTLV-1感染の診断は、スクリーニング検査の陽性者に対してウエスタンブロット法で確認試験を行っていますが、「判定保留」の比率が10～20%と比較的高いことが問題となっています。

本検査は、PCR(リアルタイムPCR)法を用いた定性検査であり、ウエスタンブロット法での「判定保留」例におけるHTLV-1感染の診断に有用です。

産婦人科領域においては、診断が明確になることで、母乳を介した母子感染の予防が可能となることから高い必要性があります。

### ■疾患との関連

成人T細胞白血病・リンパ腫(ATL・ATLL)  
HTLV-1関連脊髄症(HAM)

### ■関連する主な検査項目

HTLV- I (ATLV)抗体

### ■検査要領

項目コード	-
検査項目名	HTLV-1核酸検出
検体量	血液(EDTA-2Na加) 7.0 mL (容器形態:PN7)
保存方法(安定性)	冷蔵(3日)
検査方法	PCR(リアルタイムPCR)
基準値	陰性(プロウイルスを認めませんでした)
所要日数	11～18日
実施料	450点 <sup>*1</sup> ([D023 10]HTLV- I 核酸検出)
判断料	150点(微生物学的検査判断料)
備考	凍結保存は避けてください。 他項目との重複依頼は避けてください。 化学療法などにより細胞数が減少している場合は、必要量のDNAが抽出できない場合があります。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意下さい。  * 1: HTLV-1核酸検出はHTLV- I (ATLV)抗体(ウエスタンブロット法)によって判定保留となった妊婦を対象として測定した場合にのみ算定できる。本検査を実施した場合は、診療報酬明細書の摘要欄にウエスタンブロット法による検査実施日及び判定保留である旨を記載する。
検査委託先	エスアールエル(→5)

### ■参考文献

Miyazato P, et al: Journal of Virology 80(21):10683～10691, 2006.

(検査方法参考文献)